

授業科目	*成人看護学概論				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21309J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1			
担当教員	大嶋 満須美、高橋 甲枝							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>本授業はあらゆる健康レベルの成人期にある人々を対象とする看護に関する導入的科目である。授業では、実務家教員が経験を踏まえ成人期にある人々の特徴(ライフサイクルにおける成長・発達)、成人期の人々に関わる保健・医療・福祉における動向、成人期にある人々の環境と健康、看護の特性、及び、看護に活用される理論・モデルについて概説する。尚、授業は遠隔授業で行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人期にある人々の特徴(発達課題を含む)を述べることができる。(DP1-2) 2. 成人期にある人々のおかれている環境が健康に及ぼす影響を述べることができる。(DP1-2) 3. 成人期にある人々の健康に関わる保健・医療・福祉システムの概要を述べることができる。(DP1-2) 4. 成人期にみられる健康障害の特徴を列挙できる。(DP1-2) 5. 健康レベルに対応した看護方法の特徴を述べることができる。(DP1-2,2-1,3-1) 6. 成人期にある人々の看護に活用できる関連理論・モデルを述べることができる。(DP1-2,2-1) 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	65	0	35	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)	40		30				70	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	25						25	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
目標1～6の内容を総合的に理解し、各内容について80～90%説明できる				目標1～6の内容を総合的に理解し、内容について70～80%は説明できる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション テーマ:成人看護学概論と位置づけ ・成人看護学の対象論 ・ライフサイクルの中での成人の位置づけ ・成人の発達段階 (大嶋)	・シラバスを用いオリエンテーションを行う ・講義 (遠隔授業)	・成人の位置づけを調べておく。 ・成人の発達段階に関する理論を学習する。 ・課題をもとに各自資料作成の準備を進める。	課題達成時間 100分
2	テーマ:健康レベルにおける特徴と援助 ・健康レベルの枠組みと特徴 (大嶋)	・講義 (遠隔授業)	・健康レベルと状況に応じた看護ケアの方法について復習する。	課題達成時間 100分
3	テーマ:成人期にある人の健康と課題 ・課題学習 ・課題の解説 (大嶋・高橋)	・個人学習 ・解説 (遠隔授業)	・課題ワークの成果をまとめ提出する。 提出日:5月19日 (水)18:00	題達成時間 60分
4	テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル セルフケア論、自己効力感、エンパワーメント、アドヒアランス/コンプライアンス (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義 (遠隔授業)	・講義内容を復習する。	題達成時間 60分
5	テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル ストレス・コーピング、危機理論、病みの軌跡 (高橋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義 (遠隔授業)	・講義内容を復習する。	題達成時間 60分
6	テーマ:成人期看護に活用される理論・モデル セルフマネジメント、成人教育理論(アンドラゴジー)、家族看護などの理論活用 (大嶋)	パワーポイント資料とテキストを用いた講義 (遠隔授業)	・講義内容を復習する。	題達成時間 60分
7	テーマ:まとめ ・継続看護と専門職連携 ・まとめ 60分 (大嶋・高橋)	・パワーポイント資料とテキストを用いた講義(遠隔授業) ・まとめ	・継続看護と専門職連携について学習する。 ・まとめ 「成人看護学概論」の講義内容を整理し、成人期にある人々の健康と看護について理解を深める。 ・後期の「方法論」と関連づけて学習できるように準備を整える。	題達成時間 60分
8				
9				
10				
11				
12				
13				

14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	既修の疫学、健康と栄養、疾病学、発達心理学、生活と環境、看護理論等の知識、成人の健康に関する社会的課題や政策に関する知識			
テキスト	大西和子・岡部聡子編:成人看護学概論 第2版 ニューヴェルヒロカワ			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	看護実践に活かす中範囲理論、メジカルフレンド社, 2010 厚生労働統計協会 国民衛生の動向 最新版 その他は必要時に授業の中で提示します			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	成人看護学の総説です。後期の各論の基盤となりますので、しっかり身につけて下さい。授業は遠隔授業で行います。毎回、授業後には「学びと理解」を確認し、次回の授業に繋げていきますが、復習がとても重要です。成人期にある対象の課題を探求し看護のあり方について考察を深めて下さい。			

達成度評価に関するコメント	レポートと試験で評価を行います。試験の内容は授業中に提示します。熱心に授業に参加して下さい。
---------------	--